

料金別納  
郵便



上田市議会議員 **上田大好き** 齊藤達也

たっさんかい

達参会ニュース

2023年（令和5年）第22号



発行人 達参会（齊藤達也後援会）上田市中央2-20-12 討議資料  
TEL&FAX 0268-75-0175 E-mail : t.saito.koenkai@gmail.com

令和5年度がスタートしました！上田市役所で組織改正が行われたことに伴い、私が委員長を務める産業水道委員会では、新たに市政の最重要課題である資源循環型施設建設やゼロカーボン施策を推進する環境部も所管することとなり「産業環境委員会」と改称されました。引き続き、「誰のために何のために」行う事業なのかを、全体最適の視点から是々非々で議論して参ります。

また、注力してきた教育分野では、不登校児童生徒を支援する民間施設等に関するガイドラインが策定されました。上田市には既に民間の素晴らしい取り組みがありますので、ガイドラインの積極的な運用に期待したいと思います。



2023年2月に開催された「学びとアートに関わる新しい居場所をどうやって継続するか？を考える公開ミーティング」

**問** 直近の性別、年齢階級の人口移動の状況において、上田市全体及び地域別の子育て世代と年少人口の転入超過の状況はどうか

答（健康こども未来部長）  
市全体でのコーホート分析の結果では、議員の指摘どおり、令和2年度における14歳以下と30代から40代において、男女共に転入超過が続いている。

**問** 特に中心市街地ではマンション開発が進んでいるが、子育て世代の転入も見込まれる中、中心市街地の小規模保育所の需要をどのように捉えているか。

また、3歳未満児の保育需要が増加することが予想される中、新たな民間の小規模保育事業所の整備についての見解はどうか。

答（健康こども未来部長）  
特にマンションが立地する自治会では、住民基本台帳上、20代から40台までの若者世代の人口増加とともに3歳未満児の人口も増加しているが、同じ中心市街地でも、その他の自治会では人口減少が進んでいる。

中心市街地での小規模保育事業所の需要や設置の必要性については、通園が見込まれる区域全体の人口動向や周辺に立地する既存施設の入園状況なども踏まえながら検討する必要がある。

新たな民間の小規模保育事業所の整備については、少子化により3歳未満児の人口が減少する一方、共働き世帯の増加等により、保育需要は増加しており、当面はその傾向が続くものと認識しており、慢性的な保育士不足が続く中、3歳未満児の保育の受皿の確保も重要なことと考えている。令和4年度中に3団体による施設の整備を見込んでいたが、2団体が事業中止となった状況や今後の保育需要等も踏まえると、新たな小規模保育事業所の整備については引き続き検討していく。

#### 【その他の質問】

- ・ひとり親家庭及び生活困窮世帯、不登校等の子どもに対する支援
- ・学生が勉強できる環境の整備